

第3回耐震設計規格委員会 議事録

- I. 日 時：平成29年11月28日（火）9：30～12：00
- II. 場 所：高圧ガス保安協会 第4,5会議室（東京都港区虎ノ門4-3-13）
- III. 出席者：（敬称略・順不同）
 - 委員長：渡邊
 - 副委員長：盛川
 - 委員：古屋、糸井、因幡、坂井、堀野、茨田、大江、藤田、森本、片岡、吉岡、樋口 [金子代理]、岩田、市川（泰）、水上、森村
途中出席；上野、渡辺
 - オブザーバ：山口、佐藤、近藤（経済産業省）、本田（（株）日建設計シビル）、大島（東京ガス（株））、鳥海（（有）産業と保安ジャーナル社）
 - K H K：小山田、木全、大野、佐野
- IV. 配付資料
 - 資料16 第2回耐震設計規格委員会議事録（案）
 - 資料17 規格委員等による意見及び修正案について
 - 資料18 「高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準（レベル1）KHK S0861(2018)」（案）
 - 資料19 「高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準（レベル2）KHK S0862(2018)」（案）
 - 資料20 KHK S0861 及び KHK S0862 の制定手続きに関して
- V. 議事概要
 1. 定足数報告

事務局より定足数の報告があり、委員数22名に対し、委員出席18名で定足数（委員数の過半数以上）を満足している旨があった。また、金子委員の代理として樋口氏が出席する旨が了承された。
 2. 議案（1）前回議事録（案）について

出席委員全員（18名）の賛成により承認された。
 3. 議案（2）資料17,18,19「高圧ガス設備等の耐震設計に関する基準（案）」についての審議

事務局より資料17,18,19の説明を行った。また、資料18,19の表題に「(案)」の記入を依頼した。主な審議内容は以下のとおり。

 - 1) 資料19p9の5設計用の地震動で、「レベル2地震動に係る設計用の地震動は、5.1によるものとする。ただし、当面の間5.2によってもよい。」の‘当面の間’について（委員）‘当面の間’では、ある日突然変更される可能性があるような認識を与えることになり、削除してもよいのではないか。

（事務局）規格委員会で審議して変更することになるので、突然に変更されることは無い。

(委員) 現在、委託調査で設計用の地震動の見直しの要否の検討中で有り、‘当面の間’を削除するのは問題である。注を設けて、‘当面の間とは、次期改訂までの間’と記述したらどうか。

(委員) この規格にこのような注を入れるのはなじまないので、来年度作成予定のTD (技術文書) に‘当面の間’についての説明を入れたらどうか。

(委員長) TDに説明を記載することとする。

2) 資料 19p10 の 5.1 サイトスペシフィック地震動で、「耐震設計構造物の設置場所およびその周辺に活断層が知られてない場合においては、伏在断層による地震として、M6.5以上の地震が直下で発生した場合を想定すること」について

(委員) 自治体の防災計画の設定の想定地震との齟齬が出てしまう可能性があるので、M6.5 の下限を設定しない方が良い。

(委員) 防災計画はエリアで決めているので、サイトスペシフィック地震動としては、下限を設定して欲しい。

(委員) 附属書Fに下限値を M6.5 と記述されているので、5.1 では「耐震設計構造物の設置場所およびその周辺に活断層が知られてない場合においては、伏在断層による地震が、耐震設計構造物の直下で発生した場合を想定すること」としたらどうか。

(委員長) M6.5 を削除して、修正することとする。

3) 資料 19p2 の目次で、「5 設計用の地震動」の次の章として、「6 応答値の算定」を追加について

(委員) 前回の委員会で指摘したが、設計基準として 6 を追記した方が良い。内容は、「5 による地震動を用いて、耐震設計構造物の応答値を算定すること。」と簡単に記述したらどうか。

(委員) 「4 耐震性能評価」に応答解析も含まれており、このような形の規定項目で今まで設計を行ってきており、この案通りが良いと考える。

(委員長) 今年度は本案通りとし、次年度以降に設計地震動も含め構成の見直しを行うこととする。

4. 議案 (3) 資料 20 KHK S0861 及び KHK S0862 の制定手続きに関して

事務局より資料 20 の説明が行われた。主な審議内容は以下のとおり。

(委員) ⑥KHK内部手続きが終わり、制定となるのはいつ頃か。

(事務局) 経産省による法改正が来年 3 月なので、それに合わせたいが、これらの手続きでコンセンサスが得られなければ、延びる可能性が有る。

資料 20 に従いKHK S制定手続きを進めることで決を採った結果、出席委員の過半数の賛成により可決された。

5. その他

資料 20 の書面投票 (開始日は別途連絡する) はWEBシステムで行う。パスワードは別途郵送で、使用方法はメールする。

以上